

令和 8 （ 2 0 2 6 ） 年度
学校経営計画及び学校目標

学校法人藍野大学 明浄学院高等学校

令和8（2026）年度 学校経営計画及び学校目標

明浄学院高等学校

校長 山本 嘉人

1 めざす学校像

明浄学院高等学校は、大正10（1921）年創設、令和8（2026）年に創立105周年を迎える伝統校として、校訓「明く、浄く、直く」を不易の基盤に据え、教育基本法、学校教育法及び 高等学校学習指導要領の趣旨に則り、学校法人藍野大学の建学の精神「愛智精神 [Philo-sophia]」に もとづく人間教育」を高等学校教育の具体の場において実現する。

そのため、普通科及び衛生看護科の教育目標並びに本校の教育方針を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた人間形成と、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実、並びに社会に開かれた教育課程の実現を通じて、次に掲げる学校像の実現に最善を尽くす。

（１）学習と部活動・学校行事に主体的に取り組み、挑戦心、探究心、思いやり及び気配りを備えた生徒を育成する学校

（２）普通科においては進学・就職等の多様な進路を、衛生看護科においては５年一貫的視野に立った看護職志向と国家試験合格を、それぞれ確実に支援できる学校

（３）礼節を重んじ、自律と他者尊重を基礎として、いじめを許さず、安全で安心して学べる学校

（４）藍野大学、藍野大学短期大学部、びわこリハビリテーション専門職大学及び藍野グループとの高大接続・地域連携を推進し、地域から信頼される開かれた学校

（５）AINO VISION 2035に接続し、DX、探究、国際理解、地域貢献を柱として持続的に自己改革できる学校

2 中期的目標

令和8（2026）年度は、創立105周年の節目として、単年度の改善にとどまらず、2035年を見据えた学校改革の起点となる年度と位置付ける。学校評価を核としたPDCAサイクルを徹底し、教育課程、学習指導、生徒指導、進路指導、校務運営及び広報・地域連携を一体的に見直す。

（１）授業の質保証と学力向上 学校テーマ「主体的な学びを育成する授業の高度化」

ア 観点別学習評価の適切な運用と授業改善を一体化し、「わかる授業」「学力がつく授業」「進路に結果を出す授業」を実現する。

イ ICT、学習支援システム、探究的学習、発表活動等を活用し、主体的・対話的で深い学びを促進する。

（２）豊かな人間性と安全安心な学校生活の実現

ア 基本的生活習慣の確立、礼節の涵養、人権教育・道徳教育・教育相談の充実により、安心して学べる環境を整備する。

イ いじめ防止対策推進法に基づく未然防止、早期発見、迅速対応を徹底し、不登校傾向生徒への組織的支援を強化する。

（３）進路保障と高大接続の強化

ア 普通科は学力伸長とキャリア形成支援を、衛生看護科は看護職育成と准看護師試験合格支援を、それぞれ計画的に推進する。

イ 藍野大学等との連携講座、体験学習、見学、接続教育を通じて、高校から高等教育への学びの接続を強化する。

（４）機能的な組織運営と学校力の向上

ア 学年・分掌・管理職の連携を強化し、ミドルリーダー育成、校内研修、O J T、情報共有の高度化を進める。

イ 学校教育自己診断、授業アンケート、保護者・地域の声を学校経営に反映し、説明責任を果たす。

(5) 地域連携・広報力の強化

ア 地域清掃、ボランティア、商店街・地域団体との連携等を通じて、地域に根差した学校づくりを進める。

イ 学校説明会、ホームページ、SNS等を活用し、本校の教育内容と成果を積極的に発信する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会等からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和9年（2027）年春季実施予定〕

令和8（2026）年度においては、生徒・保護者・教職員を対象とする学校教育自己診断及び授業アンケートを実施し、授業改善、安全安心、進路支援、学校行事、相談体制、情報発信等の観点から分析を行う。

う。分析結果は学校評価委員会等に報告し、次年度計画へ反映する。

学校運営協議会等からの意見

学校案内・募集広報のみならず、教育の質保証、地域連携、規範意識の育成、高大接続及び衛生看護科における専門職基礎教育の充実について、外部有識者、保護者及び地域関係者の意見を聴取し、学校運営の改善に資する。

3 本年度の取り組み内容及び自己評価 令和8（2026）年度

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学力の向上	(1) 個に応じた学習指導の充実 (2) 生徒主体の授業改革の推進 (3) 観点別学習評価と授業改善の一体化	ア 公開授業、研究授業、教科会を通じ、授業改善を組織的に進める。 イ ICT機器、学習支援ツール、発表活動、探究的課題を授業に計画的に位置付ける。 ウ 学力差に応じた課題設定、補習、面談、家庭学習指導を通じ、学習習慣を定着させる。 エ 普通科・衛生看護科それぞれの教育目標に即した教育課程運用を点検する。	・授業アンケート満足度80%以上 ・公開授業又は研究授業 各教科年2回以上 ・家庭学習・補習対象者の改善率70%以上 ・「本校に入学して良かった」肯定的回答85%以上	
生活指導・人権教育	(1) 基本的生活習慣・学習習慣の確立 (2) 人権教育・道徳教育・教育相談の充実 (3) いじめ・不登校への組織的対応	ア 毎朝の登校指導、身だしなみ指導及び挨拶指導を通じて規範意識を涵養する。 イ 各学年において人権学習・情報モラル・薬物乱用防止等の指導を計画的に実施する。 ウ いじめアンケート、教育相談、ケース会議を定期実施し、早期発見・早期対応を徹底する。 エ スクールカウンセラー、養護教諭、学年団、管理職の連携により、欠席傾向生徒支援を強化する。	・遅刻者数 前年度比10%減 ・人権学習 各学年年1回以上 ・いじめアンケート各学期末実施 ・「担任は相談しやすい」肯定的回答80%以上	
進路指導・高大接続	(1) 生涯を見通した的確な進路指導 (2) 普通科・衛生看護科の特性に応じた進路保障	ア 3年間又は5年間を見通した進路指導計画を策定し、面談、ガイダンス、講習を体系的に実施する。 イ 普通科では進学・就職の双方に対応した学力支援とキャリア教育を推進する。	・進路ガイダンス・講座 各学年年2回以上 ・オープンキャンパス参加促進率 前年	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
	(3) 藍野大学等との接続強化	ウ 衛生看護科では准看護師試験対策、看護職理解、接遇・倫理教育を計画的に行う。エ 藍野大学、藍野大学短期大学部等との連携講座、見学、模擬授業等を充実させる。	度以上 ・准看護師試験合格率100%維持 ・卒業時進路決定率100%	
学校運営・組織力向上	(1) 機能的で説明責任を果たす校務運営 (2) 教職員研修・OJTの充実 (3) 学校評価PDCAの徹底	ア 学年・分掌・管理職会議の連動を強化し、迅速な意思決定と情報共有を図る。 イ 観点別評価、特別支援教育、危機管理、広報等をテーマとする校内研修を実施する。 ウ 学校教育自己診断、授業アンケート、保護者意見等を根拠として改善課題を明確化する。 エ 法令及び諸規程に基づく文書管理、個人情報保護、服務規律の徹底を図る。	・校内研修 年3回以上 ・学校評価委員会等による点検 年2回以上 ・学校教育自己診断の回収率向上 ・重大事故・重大な服務事故 0件	
地域連携・広報	(1) 地域に信頼される学校づくり (2) 広報力・募集力の向上 (3) 創立105周年を契機とした魅力発信	ア 地域清掃、ボランティア、地域イベント等への参加を推進し、社会参画意識を育成する。 イ ホームページ、SNS、学校説明会、オープンスクール等を通じ、教育活動の可視化を進める。 ウ 吹奏楽部等の特色ある活動、国際理解、情操教育、高大連携の成果を積極的に発信する。 エ 創立105周年を踏まえ、伝統と改革を統合した学校ブランドの確立を図る。	・地域連携活動 年5回以上 ・学校説明会等の参加者数 前年度以上 ・ホームページ・SNSの定期更新 月1回以上 ・「学校行事が有意義」肯定的回答80%以上	

4 法令・答申・スクールポリシー等との整合

・本計画は、教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則、高等学校学習指導要領及びその解説の趣旨を踏まえ、教育課程の適切な編成・実施・評価、カリキュラム・マネジメント、観点別学習評価、安全安心な学習環境の整備に資するものとして策定した。

・また、中央教育審議会答申が示す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実、「社会に開かれた教育課程」の実現、デジタル等を活用した学びの高度化の方向性を踏まえた。

・さらに、本校の教育方針、普通科及び衛生看護科の教育目標、並びにAINO VISION 2035及び明浄学院高等学校ロードマップの方向性との整合を図り、卒業後に社会で自立し、他者と協働し、地域に貢献できる人材の育成を目指す。

【参考・整合を図った主な基準等】

- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学校教育法施行規則
- ・高等学校学習指導要領（平成30年文部科学省告示）及び同解説
- ・中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」
- ・明浄学院高等学校 教育方針・教育目標
- ・明浄学院高等学校 令和7（2025）年度 学校経営計画及び学校目標
- ・AINO VISION 2035 明浄学院高等学校ロードマップ等